

審 議 (会 議) 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度神奈川県肝炎対策協議会		
開催日時	令和6年2月2日(金曜日)18時00分～19時30分		
開催方法	Web開催		
(役職名) 出席者	(会長) 田中克明 小田真智子(以下、50音順) 加川建弘 賀川美雪 小菅俊彦 笹生正人 渋谷明隆 東健一 弘中千加 松井雅子 守村妙子 幸田吉史 吉田綾 渡邊綱正		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	がん・疾病対策課疾病対策グループ 肝疾患担当 電話番号 045-210-4795 ファクシミリ番号 045-210-8860		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録 ・ 議事概要 	議事概要とした理由	不確定な情報であって、公開すると混乱を生じさせるおそれがある情報(神奈川県情報公開条例第5条(3)の内容)のため
審議(会議)経過	1 報告 肝疾患対策事業の実施状況について <資料1～4について事務局から説明> (会長) こちらまでが肝疾患対策事業の実施状況の説明でよろしいでしょうか。		

(事務局)

そうです。

(会長)

毎回同じような書類が出てまいりますけど、ここまでで委員の皆様方質問やコメントございますでしょうか。ほぼ例年通りではないかと思いますが。

(賀川委員)

資料4の肝疾患医療センター事業のところで、医療従事者研修会をどこが主催して、どんな内容なのか教えていただけますでしょうか。

(会長)

ありがとうございます。医療従事者研修は肝疾患医療センターが主催して行うこととなっておりますが、もうちょっと具体的なことをお聞きになりたいということによろしいでしょうか。

(賀川委員)

はい

(会長)

では、申し訳ないのですが、東海大学の加川委員にコメントいただけるとありがたいのですが。

(加川委員)

年に一回やっております、テーマは毎年変えております。昨年は脂肪肝で今年は今月末にウイルス性肝炎のお話をさせていただく予定です。

(会長)

ありがとうございます。他に質問やコメントございますか。本年度も例年と大きな差はないと思いますので、報告はここまでにして、次の議題に移ってよろしいでしょうか。議題の神奈川県肝炎対策推進計画の進捗状況について事務局からご説明をお願いします。

2 議題

神奈川県肝炎対策推進計画の進捗状況について

<資料5～7について事務局から説明>

(会長)

ありがとうございました。皆様方から質問や御意見をいただきたい

と思います。質問がありましたら、挙手やチャットでお知らせください。いかがでしょうか。肝疾患コーディネーターの育成を除いて、進捗状況は十分ではないし、委員の皆様方の意見を参考にしながら神奈川県も苦勞してやっていると思いますが、今一つ結果に結びついていないところがあるのではないかと思います。是非活発な御意見をいただきたいと思います。

(渋谷委員)

肝疾患コーディネーターについて、とても多くの方が認定されているようですが、どういう職種の方が認定されているのでしょうか。また、手術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明に係る文書についてどのような文書を想定されているのでしょうか。検査結果を渡すだけではいけないのでしょうか。

(事務局)

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等の医療従事者の方が多く認定されています。文書については、文書を交付した方が、みなさまにわかりやすいということがあります。また、県から医療機関に参考様式をお送りしています。

(渋谷委員)

それは検査結果だけが書かれた紙だけではなく、結果に対する解釈も書いてある文書ということでしょうか。

(事務局)

そうです。

(渋谷委員)

御説明いただいた中で、文書の交付は思ったより多くなく、口頭説明が多かったなので、その文書はどのように行きわたっているのかなと思ったので、お伺いしました。

(事務局)

参考の文書につきましては、調査結果と併せて各医療機関にお送りしています。

(会長)

肝疾患コーディネーターは事務局から説明がありましたように、薬剤師さんが一番多く、次いで看護師さん。私の前任地ですと、医師事務補助の方とか治験を担当している職員の方が受験していることが多かったです。まじめに講義を受けていれば、試験は簡単に受かると聞

いています。その他の方はいかがでしょうか。医師の方から聞きたい
と思います。

(渡邊委員)

肝疾患コーディネーターの養成については、自身の病院だけに限ら
ず、門前薬局や近くの歯医者さん等、普段から我々の医療の情報が伝
達しにくい方たちに周知するように心がけていますが、まだ十分に情
報が伝達できていないということは、少しあるのかもしれませんが。術
前の検査結果については、結果だけでなく受診勧奨するような文書で
の交付というのは、なかなか自身の病院も含めてできていないのが現
状なので、今後改善を試みようと思っております。

(会長)

陽性が判明した場合に、院内で受診を促すような電子カルテを使っ
たアラート等の構築はまだされていないのでしょうか。

(渡邊委員)

病院を新しくし、電子カルテのシステムが全部変わってしまったの
で、感染症のアラートシステムはまだ上手く起動できていないので、
今後対応していきたいとは思っています。

(会長)

それができるとだいぶ違ってきますよね。文書で結果を出していな
い先生方が非常に多い実情に、私はとても驚きました。この点は改善
の余地があるのかなと思いました。他の委員の方はいかがでしょうか。

(加川委員)

施策3のフォローアップ事業について、28自治体を33自治体にす
るということですが、これは県から自治体に直接指導すればすぐやれ
るのではないのでしょうか。県から各自治体にアクションはされている
のでしょうか。

(事務局)

各市町村には、例えば健康増進事業の担当課長会議がありますので、
その際にはお話をしています。また、実施状況も聞いておりますので、
その際にお話をしています。

(加川委員)

それでもやらない自治体は何か問題があるのでしょうか。

(事務局)

人がいない、陽性者がいないという自治体もあるので、なかなか進まないということもございます。

(加川委員)

あと肝炎検診で数が極点に少ない自治体がありますよね。資料2の特定感染症検査等事業では、横浜市や川崎市は多いですが、横須賀市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市は少ないです。健康増進事業では自治体別に書かれていないので、内容まではわかりませんが、私が前調べたところでは、ほとんど受けていないという自治体もあるみたいなので、そのあたりの県の指導はどのような感じになっているのでしょうか。

(事務局)

先ほど申し上げましたが、各自治体のフォローアップの実施状況の調査を継続してやっておりますが、今年も1月末にお願いしたところでございます。そうしたことを通じて実施していただくようお願いしております。

(加川委員)

もうちょっと強く言った方がいいのではないかと私は感じていますので、できるだけお願いしたいと思います。

(事務局)

御意見ありがとうございます。

(会長)

まさにそうですよね。広報という点からすると、藤沢市で2023年に「知って、肝炎プロジェクト」を実施されていますけれども、検査の受診者数が増加した等、市民の行動に関して何か変化はありましたでしょうか。

(幸田委員)

お話のとおり、藤沢市は一昨年2月に厚生労働省の「知って、肝炎プロジェクト」の積極的広報地域に応募して選ばれ、今年度実施してきました。俳優の杉良太郎さんの市長表敬訪問から始まり、市民祭りでは、タレントのコロッケさんがいらしてPRされました。また、職域へのPRということで、いすゞ自動車の方を訪問しました。それらが市民に対してどのような変化があったかということまでは、統計等をとっていませんのでわかりませんが、市民祭り等の現場では、会場に来ていた方たちはかなり真剣に話を聞いていて、検査の必要性や「健康状態を知る」ということが大事であるということに関して、イベントに参加された方に強く印象が残ったのかなと感じています。横浜市、

川崎市とは集計方法に違いがあるのかと思いますが、令和4年の藤沢市の検査数は10件弱ぐらいで、今年度に関しては24件まで増えてきています。藤沢市の場合は性感染症のエイズ検査と一緒にやっていますが、今年度は申込みが例年より多く、少しずつではありますが増えているのかなと思います。

(会長)

それなりに効果がありそうだったところでしょうか。市町村では市民祭りとか市民の日がターゲットになるのではないかと思います。何か取り組まれている自治体はございますか。横須賀市はいかがでしょう。

(小菅委員)

横須賀市では肝炎に関しては、HP等では周知はしていますが、今言われたような市民祭り等のイベントでの周知はまだできないような状態です。昨年まで新型コロナウイルス感染症で課としていっぱいだったところ、やっと平常に戻ってきているという状況ですので、今後に向けて少し考えていきたいと思っています。

(会長)

ありがとうございます。茅ヶ崎市はいかがでしょう。

(守村委員)

茅ヶ崎市も件数は少ないので、市民の方が自発的に気づいて申し込むということを待っていても少ないままではと感じております。HPだけではなく、LINEやX等のツールを使って、今後広報をしていこうと考えております。

(会長)

ありがとうございます。相模原市はいかがでしょう。

(吉田委員)

相模原市でも検査の件数はそれほど多くはないですが、年1回世界エイズデーのときにイベント検査を行っていますが、その時にHIVだけでなくB型肝炎の検査も実施したという経過はございます。

(会長)

ありがとうございます。横浜市と川崎市は件数が非常に多いので、こうやったらいいのではないかとということ等がありましたらお願いします。

(小田委員)

検査件数が比較的多いということを改めて認識したところです。やはりエイズ検査と同日にやっていて、ここ何年間ある程度検査数が多かったということがあるので、肝炎の検査数についても多めだったのかなと思います。肝炎だけやらないという方もいらっしゃいますが、だいたい一緒に受けていただく方が多いです。

(会長)

ありがとうございます。エイズとセットでやると検査数が多いということですね。横浜市はいかがでしょうか。

(東委員)

区民祭りが各区であります。どういう啓発が行われているのかというところは、あまり把握できていません。検査数が多いのは、嬉しいですが、多い理由については、明確な答えはわかりません。私はメインでがん検診をやっております。がん検診ガイドというのを年に一度当該年齢の方々（国保）にお手元に届くような形で配布しておりますが、がん検診ガイドの中に肝炎の啓発とウイルス検査を受けられますよということを入れてありますので、そういうことがある程度功を奏しているのだと思います。

(会長)

ありがとうございます。広報誌でも啓蒙活動をされているのでしょうか。広報誌は結構市民の方が見ますよね。

(東委員)

「広報よこはま」でも肝炎ウイルス検査を受けられる旨掲載している区が多いかなと思います。がん検診と一緒に載せている感じだと思います。

(会長)

他の委員のみなさまから質問とかコメントがありますでしょうか。

(松井委員)

フォローアップ事業の自治体を増やすということで、加川先生の方から、県にもっと頑張ってもらいたいということをお願いしましたが、それに加えて、数としてフォローアップやっているとっては、これも私が以前からお話していますが、自治体によってフォローアップのやり方は違うと思うので、フォローアップのやり方についても具体的に見えるようにして、神奈川県内で均一な状況にさせていただけるようになればいいかなと思います。それともう一点ですが、術前検査

でいろいろな形で陽性の方に受診勧奨をしていただいている病院が多いですが、受診勧奨を一回して、その後受診されたのかどうかというところの追跡調査がどの程度されているのかということも、患者側としては気になるところです。

(会長)

ありがとうございます。受診勧奨をしてその後どうなっているのかですが、東海大学がデータをお持ちでしたよね。院内で肝炎の陽性者に専門医の受診を勧奨して、実際にどの程度専門外来を受診するのかという具体的なデータをお話いただけますか。

(加川委員)

我々は院内ですが、確か30～40%ぐらいだったように思います。

(会長)

思ったほど高くないということですね。

(加川委員)

そうですね、まだまだ啓蒙が必要かなというところですね。

(幸田委員)

先ほどの市の取組みの説明の補足ですが、藤沢市で今年度行ったこととして、市の広報番組で肝炎の番組を作って放映し、駅前にある大型LEDビジョンによる周知活動も行いました。今後の予定として、これは毎年やっていますが、3月に肝炎の講演会を開催する予定です。今回は横浜市立大学附属病院の米田先生に講演をお願いして、オンデマンド配信でやる予定です。先ほどご説明した厚労省の「知って、肝炎プロジェクト」の積極的広報地域については、令和4年度から保健所設置市に対しても行うようになったということで、藤沢市は2年目で選ばれました。今月また募集が始まると思いますが、あの事業は厚労省で全て予算を持ってくれますし、今年度に関してはエイベックスが受託しており、メディアの段取りやタレントさんの手配等、全てエイベックスがやってくれ、藤沢市は、いすゞ自動車や市民祭りの調整をやりました。なかなか周知・広報が進められないというところがあるとしたら、申し込んでみるのは非常に良いのかなと思います。

(会長)

貴重な情報提供をいただき、ありがとうございました。藤沢市だけでなく、他の市町村でも申し込みがあると良いですね。もっと県と市町村に頑張ってくれよというところで、話が落ちてしまっていますが、県でこれから何か対策等お考えになっていらっしゃいますでしょうか

か。

(事務局)

先ほど松井委員よりお話のあった各市町村でどのようにフォローアップしているのか内容を確認した方がよいというお話がありましたので、33自治体にやっていただくことを目標にしていますが、市町村に働きかける中で、内容も聞く必要があると思いますので、何らかの形で聞いていき、逆に聞くことで、何でできないのかということもわかると思うので、実態把握については委員のみなさまの御意見も踏まえながら検討していきます。

(会長)

ありがとうございます。数だけでなく中身も重要ということですね。確かにそうだと思います。他に質問、コメントありますでしょうか。

(笹生委員)

肝炎ウイルス検査で陽性だった場合に、アンケートで口頭だけでなく詳しいもので受診勧奨してほしいということと、受診勧奨した方がどうなったか、きちんとフォローアップしてほしいという意見がありましたけど、きめ細かいフォローアップが必要なのかなと思いました。

(会長)

ありがとうございます。

(弘中委員)

いろいろと情報を聞かせていただき、ありがとうございます。肝炎検査の場合は、一般の方に興味を持たれにくいと思うので、藤沢市さんがやっていたような国の事業を活用し、タレントさんを活用して啓発することも大事なのかなと感じました。それと術前検査の時の肝炎検査については、検査結果の説明ができていないという回答もあったので、その理由がわかれば教えていただけますでしょうか。

(会長)

これについてどなたか説明できる方いらっしゃいますでしょうか。事務局から補足することがありますでしょうか。

(事務局)

設問として8項目しかとってございませんので、検査結果の説明ができていない理由について把握しておりません。

(会長)

これは医療従事者の方に聞いた方が早いでしょうか。どなたか補足していただけますでしょうか。

(加川委員)

私も自分の大学でアンケートをした時、理由までは聞いてないですが、忙しすぎるとか関心がないというようなことだと思います。医療機関にコーディネーターがいればコーディネーターを介して説明もできるのかなと思います。

(渋谷委員)

術前検査は手術の前に必ず行われています。結果が陽性だったのに受診勧奨がされていない理由の一つには、主治医や患者さんはこれから行われる手術の方に関心が向いているので、付随的に受けた検査では主治医が治療後受診勧奨をする場合もあるし、主治医の関心がそちらになければ、そのままの場合も考えられます。そういった意味では、主治医の目に留まるようなところに文書があれば違ってくると思います。

(会長)

ありがとうございます。病院によってはきちんと説明できている診療科と眼科で入院が1泊2日というように、説明する間もなく退院ということもあって、なかなか一律にはいかないと思います。それをどうやって受診勧奨に結びつけるのかは私たちに投げかけられた課題だと思います。他にいかがでしょうか。

(賀川委員)

3ページの施策2の肝炎ウイルス検査の受検の促進で、包括協定を結んでいる第一生命保険会社に受検勧奨リーフレットを配布というところですが、他の民間企業への展開について教えていただけますでしょうか。

(事務局)

包括協定は基本的に県と民間企業との合意があって締結するものですが、今第一生命以外にも包括協定結んでいるところありまして、がん検診のリーフレット等を顧客の方に配っていただいていますので、相手方との調整にもよりますが、既に協定を結んでいるところとの展開はあり得るのかなと思います。

(賀川委員)

一社じゃなく数社に展開することでよろしいでしょうか。

	<p>(事務局) そういったことを含めて、展開を考えていきたいと思います。</p> <p>(賀川委員) よろしく申し上げます。</p> <p>(会長) メーカーとの協力というのはなかなか上手くいっていないのはご存じだと思いますが、肝疾患コーディネーターについても職域に今一つ浸透していないところがありますので、どのように浸透させていくのかというところは皆様方で知恵を出していかないと、行政だけではなかなか難しいかもしれないと思います。</p> <p>(賀川委員) 自身も肝炎コーディネーターですが、横のつながりでは他の自治体では LINE でつながっている事例があります。神奈川県ではコーディネーターが多くいらっしゃるので、どうにかならないかと思っているところです。</p> <p>(会長) 貴重なご提案いただきありがとうございます。他はよろしいでしょうか。皆様方一回は発言されましたよね。全体を通してよろしいですか。時間もそろそろ迫ってきていますので、議題を終わらせていただいてよろしいでしょうか。では、用意されている議題は以上になります。以上をもちまして議事を終了したいと思います。長時間にわたりお疲れさまでした。</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
	<p>資料 1 令和 4 年度肝炎治療医療費助成制度申請・認定支払状況</p> <p>資料 2 肝炎ウイルス検査（検診）実施状況（令和元～令和 3 年度）</p> <p>資料 3 令和 4 年度肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施状況</p> <p>資料 4 令和 4 年度肝疾患医療センター事業</p> <p>資料 5 神奈川県肝炎対策推進計画の進捗状況</p> <p>資料 6 神奈川県肝炎対策推進計画（平成 30 年度～令和 4 年度） （令和 4 年度の進行管理一覧表）</p> <p>資料 7 神奈川県肝炎対策推進計画の取組状況について</p>